

1月10日の避難訓練の日に

その日は「水(みず)消火器」を教師が使用し「消火訓練をする」予定だったこともあり、朝から子ども達に「消火器を使用する時について」の話をしました。その後「幼稚園の中には、どこに何本の消火器があるでしょうか?」ということで「幼稚園内の消火器探し」を行いました。幼稚園には、合計5本の消火器が設置されています。みんなでどこにあるか、確認し合い「もしもの時について」考えました。



ここにあった。消火器見つけた!

水(みず)消火器発射します

先生頑張って!

火が燃えてます!
(的があります)



消火器のピンを抜いて火元をめがけて、レバーを握って消火します。使用の仕方をご存知ですか?

防火のビデオ
を見たよ。



消防自動車 came たよ!
大きかったね。



<防火のビデオで学びました>

- 火遊びはしない
- 出火してしまった時には大人に伝える
- 忘れ物に気づいても火元に戻らない
- 自分だけで消火しようとはせず逃げる
- 口元をハンカチなどで押さえて姿勢を低くして逃げる、(煙は上に上がるため)
- 消防署の電話番号は119番

これからも、子ども達に日々の生活の中で機会を繰り返し示していきたいと考えています。

1月17日阪神淡路大震災の日になんで

5歳児は、24年前の阪神淡路大震災の時の当時の記事(家が崩れている写真、高速道路から落ちそうになっているバスの写真など)をみんなで見ました。「地震って怖いな。でも、地震の時にはダンゴムシになるんやったな」と揺れがおさまるまでダンゴムシの姿勢で待つことを覚えていて話してくれました。その後、「なぜダンゴムシのポーズ」が良いのかを考えて欲しいということで「震度6(くらい)」を「台車」を使って体験する機会を設けました。「すごい揺れやから、立ってられない。こけそうやから ちょっと揺れた時にダンゴムシにならないといけない」ということが実感できたようでした。



家が崩れてる・・・
(真剣に写真を見ていました)



ちょっとした揺れから、
大きな揺れになることがあるんだよ

ちょっとした揺れは
大丈夫やけど・・・

大きな揺れだよ！(土居、思いっきり揺らしました)



立ってられない！

4歳児は地震についての紙芝居を見ました。「外にいるときに、塀や壁の横にいたら、安全か？」という質問に「それは〇や」という子ども達。「いつ崩れてくるか分からないので危険だよ」という答えに「なるほど・・・」と子ども達。いつ地震がくるかはわかりません。登降園の際に、壁や塀、溝や川等の危険場所について話してあげてくださいね。

最初は、台車に乗って揺らしてもらえることが「楽しいアトラクション」のように感じていた子ども達。訓練が進むにつれて、真剣に友達の様子を見て、避難の仕方や訓練の大切さを感じてくれていました。

《すずらん組のつばやき》

「これは、大事な訓練やな」「先生、分かった。すぐにダンゴムシのポーズをしないと危ないねんな」

恐怖心だけが残ってはいけないので「家ではおうちの人が守ってくれるよ。幼稚園では先生がいるし、幼稚園は強い建物だからね」と大西先生が話していました。



ダンゴムシって
こうするんやった？